

コード	201050101
記入日:	H22.6.11

事務事業途中評価表

課コード	113
課名	環境課
課長名	白石英穂
担当者	川淵 靖

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	汚泥再生処理センター管理運営事業
----------	------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	2
基本事業コード	20105	基本事業名称	適正なし尿処理の推進	目コード	5
事務事業コード	2010501	事務事業名称	汚泥再生処理センター管理費	細目コード	319
関連計画	新上五島町一般廃棄物処理基本計画	法令・条例規則等	廃棄物処理法・新上五島町廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例・新上五島町廃棄物処理施設設置条例		

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標					
(対象1)	町民	(対象指標1)	23,719人(H.21.4.1現在)				
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設について必要な保守点検等を実施するとともに22.652.79kl/年間のし尿・浄化槽汚泥の処理を行った。 ・事業費内訳 光熱水費 修繕料 燃料費 薬品費等の消耗品費と手数料・各種点検委託料・運転維持管理業務委託料 	*****	*****	*****	保守点検回数 17回 ÷ 予定回数 17回	*****	
①		保守点検回数	17回	100%		平成21年度	
(達成率分析)		施設設備等の安全確保のため、予定通りの保守点検等を実施した。					
②		*****	*****	*****	*****	修繕回数 4回 ÷ 修繕予定回数 4回	*****
(達成率分析)	反応槽循環ライン電動弁、乾燥汚泥コンペアー他 修繕を行い機能維持を図った。						
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
汚泥再生処理センターにおいては、し尿・浄化槽汚泥を適正処理し、発生する汚泥と生ごみ等の有機性廃棄物を発酵設備で処理したときに発生するメタンガスの回収を行い、その余熱利用と堆肥化設備においての肥料生産を行い、廃棄物の再生利用を図り、住民の安心・快適な生活環境づくりを目指すことを目的とする。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		①	*****	*****	*****	H.21年度堆肥化実績 0.7% ÷ 一般廃棄物処理計画0.7%	*****
		再資源化率	0.7%	100%			平成21年度
		(達成率分析)	新上五島町一般廃棄物処理計画の堆肥化率は、0.7%であるが平成21年度の堆肥化率の実績は、0.7%であった。				
②	*****	*****	*****	*****	安全稼働日数365日 ÷ 年間稼働予定日数365日	*****	
(達成率分析)	予定した保守点検等を実施したことと運転維持管理が適正に行われたことで安全に稼働することができた。						

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 回	90	90	71	17	17					
	② 回	16	16	12	4	4					
成果指標	① %	341	313	227	100	100					
	② 日	1,826	1,826	1,461	365	365					
総事業費C (A+B)	千円	1,057,464	1,057,260	835,345	222,119	221,915					
直接事業費 A	千円	1,004,964	1,004,760	793,345	211,619	211,415					
人件費 B	千円	52,500	52,500	42,000	10,500	10,500					
内訳	従事職員数	人	7.5	7.5	6.0	1.5	1.5				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円	137,120	138,119	93,120	44,000	44,999				
一般財源	千円	920,344	919,141	742,225	178,119	176,916					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 一般廃棄物の減量化及び適正処理は、法律に基づくものであり、町としての責務である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 本事業の目的と事業の範囲は、一般廃棄物のし尿処理及びその再資源化等を対象としており、住民生活に密着した関連事業であることから時代情勢や環境の変化があったとしても事業の必要性はある。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由 建設した目的を考えれば適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由 施設運転処理については現行の進め方でよいが循環型社会の現在において再資源化を行う目的は、多少にかかわらず当然である。また、堆肥の利用率は乾燥肥料生産量からして89.6%である。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由 包括的運営管理を委託することで民間の創意工夫を発揮し、性能を確保させ安定運転の確保を図ることとし、肥料に係わる事業の見直し、肥料の臭いや有料化等の検討が必要であろう。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由 事業内容からして他の自治体に委託となれば多額の費用が発生することとなる。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由 単一事業であることから他の事業との整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由 設備機器の対応年数を超えた現在、更新・修繕等の費用が増大することから包括的運営管理委託を行うことで事業費の平準化が図られ、早期整備・緊急時への対応が可能となることで経費削減にも繋がる。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由 組織機構の見直し等で職員数が減ともなれば受付業務を民間委託することで多少なりとも削減が可能と思われる。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由 適正である。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	肥料の有効利用・促進(臭いの軽減・有料化・配布等)について検討する必要がある。
		効率性	運転維持管理業務と機器点検整備業務を包括的運営管理委託(複数年管理委託)で行うことで事業費の削減と平準化が可能であり、設備機器の異常等に対する一掃の情報共有化が図られる。
		課題に向けた改善策	とくに肥料の臭い軽減策が既存設備で図られるのか費用も含めて検討が必要である。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	循環型社会形成のため堆肥等に有効利用は続け、住民への利用促進を図ること。また施設の維持管理は適正に行うこと。
効率性		施設の維持管理は適正に行い、補修等は計画的に実施すること。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
				このまま事業を継続				類似事業と整理統合
	●	●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。